

14時30分解禁

平成28年6月 全国百貨店売上高概況

平成28年7月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,699億円余
2. 前年同月比	-3.5% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 236店 (平成28年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,969,483㎡ (前年同月比:-1.6%)
5. 総従業員数	76,233人 (前年同月比:-2.7%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 -1.4%、12-2月 -0.5%、1-3月 -1.6%、
(店舗数調整後)	2-4月 -2.2%、3-5月 -3.9%、4-6月 -4.1%

[参考] 平成27年6月の売上高増減率は0.4% (店舗数調整後)

【特徴】

6月の売上高は3.5%減で4か月連続のマイナスに終わったが、前月に比べ1.6ポイント(-5.1%/前月)の改善を見せている。地区別では全18地区のうち九州を除いた17地区で前年に届かず。10都市計と10都市以外計は共に3.5%減となっており、規模別売上でも全ての店舗規模で前年割れに終わった。

訪日外国人(シェア2.8%)は、購買行動や品目の変化から、購買単価(-30.2%)が下落傾向にあり、売上高は20.4%減(約130億円)と3か月連続前年割れしたが、購買客数は14%増(約23万人)と41か月連続前年を確保している。また、長く減速傾向にある中間層をはじめとして国内購買客(シェア97.2%)の不調は継続しており急回復が厳しい状況にある。

商品別では、富裕層の消費マインド低下を受けた美術・宝飾・貴金属(-9.2%)の失速を受け、雑貨が15か月ぶりのマイナス。主要5品目全てが前年を割った(20か月ぶり/2014年10月以来)ものの、中元購買客の買い回りが好調な、衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品が前月に比べマイナス幅を縮小している。細分類では化粧品が7.6%増で15か月連続プラスを記録。

地区別、規模別など全ての状況が厳しい中、次シーズンに向け①明確な市場戦略の徹底、②顧客戦略見直し、③集客手段の再検証、④販売チャネル磨き直しなどが急務となっている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇月後半は、梅雨前線が本州付近に停滞し特に西日本で活動が活発化、月降水量は西日本太平洋側でかなり多く、19日からの大雨で九州の広い範囲及び中国・四国地方各地で土砂災害や浸水害等が発生した。また、北日本も降水量が多かった一方、東日本では5月から少雨が続くところもあり、取水制限がとられる河川もあった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日(〃 ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)

①増加した：22店、②変化なし：37店、③減少した：78店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上/有効回答数103店舗)

①増加した：8店、②変化なし：52店、③減少した：43店

全国百貨店 売上高速報 2016年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	469,996,164	100.0	-3.5 (-3.7)
10都市	319,224,361	67.9	-3.5
札幌	11,408,357	2.4	-1.8
仙台	6,434,768	1.4	-2.2
東京	130,170,443	27.7	-3.2
横浜	29,532,332	6.3	-2.9
名古屋	29,326,746	6.2	-2.8
京都	18,348,608	3.9	-4.4
大阪	57,350,420	12.2	-5.7
神戸	12,018,550	2.6	-3.8
広島	10,034,228	2.1	-1.0
福岡	14,599,909	3.1	-2.5
10都市以外の地区	150,771,803	32.1	-3.5 (-4.0)
北海道	2,391,462	0.5	-1.6
東北	7,312,513	1.6	-6.1 (-6.7)
関東	70,020,735	14.9	-4.4 (-5.5)
中部	11,081,966	2.4	-3.9
近畿	20,126,837	4.3	-2.8
中国	10,790,132	2.3	-4.5
四国	7,445,622	1.6	-4.9
九州	21,602,536	4.6	1.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	469,996,164	100.0	-3.5 (-3.7)
紳士服・洋品	30,449,697	6.5	-6.5 (-6.7)
婦人服・洋品	88,429,305	18.8	-5.5 (-5.6)
子供服・洋品	8,129,970	1.7	-4.0 (-4.2)
その他衣料品	10,684,480	2.3	-6.3 (-6.6)
衣 料 品	137,693,452	29.3	-5.7 (-5.9)
身のまわり品	58,795,822	12.5	-5.7 (-5.8)
化粧品	34,649,818	7.4	7.6 (7.5)
美術・宝飾・貴金属	28,827,952	6.1	-9.2 (-9.2)
その他雑貨	17,426,251	3.7	-3.0 (-3.5)
雑 貨	80,904,021	17.2	-1.2 (-1.4)
家 具	5,418,827	1.2	-3.0 (-3.1)
家 電	1,362,918	0.3	-23.7 (-23.7)
その他家庭用品	14,767,816	3.1	-8.3 (-8.5)
家 庭 用 品	21,549,561	4.6	-8.2 (-8.4)
生 鮮 食 品	29,249,431	6.2	-3.2 (-3.4)
菓 子	35,642,135	7.6	0.4 (0.2)
惣 菜	28,998,454	6.2	0.0 (-0.1)
その他食料品	49,240,825	10.5	-0.3 (-0.6)
食 料 品	143,130,845	30.5	-0.7 (-0.9)
食 堂 喫 茶	12,913,770	2.7	-5.8 (-6.2)
サ ー ビ ス	4,898,026	1.0	-8.2 (-8.6)
そ の 他	10,110,667	2.2	-1.0 (-1.0)
商 品 券	17,603,272	3.7	-6.8 (-6.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | - 3.5% (4か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 3.5% (店舗数調整後/8か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	- 3.5	- 2.4	4か月連続マイナス
札幌	- 1.8	0.0	5か月連続マイナス
仙台	- 2.2	0.0	4か月連続マイナス
東京	- 3.2	- 0.9	4か月連続マイナス
横浜	- 2.9	- 0.2	6か月連続マイナス
名古屋	- 2.8	- 0.2	6か月連続マイナス
京都	- 4.4	- 0.2	3か月連続マイナス
大阪	- 5.7	- 0.7	6か月連続マイナス
神戸	- 3.8	- 0.1	4か月連続マイナス
広島	- 1.0	0.0	8か月連続マイナス
福岡	- 2.5	- 0.1	4か月連続マイナス
10都市以外の地区	- 3.5	- 1.1	8か月連続マイナス
北海道	- 1.6	0.0	14か月連続マイナス*
東北	- 6.1	- 0.1	8か月連続マイナス*
関東	- 4.4	- 0.7	13か月連続マイナス
中部	- 3.9	- 0.1	4か月連続マイナス
近畿	- 2.8	- 0.1	8か月連続マイナス
中国	- 4.5	- 0.1	6か月連続マイナス*
四国	- 4.9	- 0.1	4か月連続マイナス
九州	1.2	0.1	4か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、20か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目は化粧品が15か月連続、菓子と惣菜が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.5	—	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-6.5	-0.4	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.5	-1.0	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-4.0	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-6.3	-0.1	8か月連続マイナス
衣料品	-5.7	-1.7	8か月連続マイナス
身のまわり品	-5.7	-0.7	4か月連続マイナス
化粧品	7.6	0.5	15か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-9.2	-0.6	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.0	-0.1	6か月連続マイナス*
雑貨	-1.2	-0.2	15か月ぶりマイナス
家具	-3.0	0.0	4か月連続マイナス
家電	-23.7	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-8.3	-0.3	3か月連続マイナス
家庭用品	-8.2	-0.4	6か月連続マイナス
生鮮食品	-3.2	-0.2	27か月連続マイナス*
菓子	0.4	0.0	3か月ぶりプラス*
惣菜	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.3	0.0	4か月連続マイナス*
食料品	-0.7	-0.2	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-5.8	-0.2	8か月連続マイナス
サービス	-8.2	-0.1	12か月連続マイナス
その他	-1.0	0.0	5か月ぶりマイナス
商品券	-6.8	-0.3	64か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成28年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年7月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,301億円余
2. 前年同月比	-3.2% (4か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.7%(89.1%) : 非店頭1.0%(10.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,870㎡ (前年同月比: 3.1%)
6. 総従業員数	19,229人 (前年同月比: -1.7%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 1.0%、12-2月 1.7%、1-3月 0.5%、 2-4月 -0.1%、3-5月 -2.3%、4-6月 -3.1%

[参考] 平成27年6月の売上高増減率は5.9%

【特徴】

- (1) 6月の入店客数は0.1%増と堅調に推移したものの、来店顧客のニーズをつかみきれず、総額では3.2%減で4か月連続のマイナスに終わった。
- (2) 商品別では主要5品目のうち食料品(+0.2%)が2か月ぶりにプラスに転じたほか、衣料品、身のまわり品が前月よりマイナス幅を縮小して改善の兆しが見られた一方、雑貨が2015年3月(消費増税駆け込みの反動減)以来15か月ぶりに前年を下回った。
- (3) 細分類では、美白やUV関連商品が活発に動いた化粧品が国内・インバウンド共に好調で10.5%増の15か月連続プラス。また、子供服(+1.2%)、菓子(+1.9%)、惣菜(+0.7%)、その他食料品(+0.3%)にも動きが見られたものの、不安定な経済状況や、金融資産の減少から富裕層の消費マインドが低下したことで、美術・宝飾・貴金属が2桁減(-11.0%)。なお、個別商材では前月に続きサングラスや帽子、晴雨兼用傘に動きが見られたほか、婦人ブラウスが好調。
- (4) 歳時記では、中元については各社ともWEB受注の比率を高める中(シェア約10%)で、ほぼ前年並みに推移している。また、父の日関連ではポロシャツやハンカチ、メンズ化粧品に人気が集まったが、購入単価の減少によりマイナスに終わっている。
- (5) 7月は14日現在約6%のプラスで推移しており、クリアランスも各社とも好調に滑り出しているとの報告を受けている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 5店、③減少した: 10店
- (3) 6月歳時記(中元、父の日)の売上 (同上/有効回答数10店舗)
①増加した: 2店、②変化なし: 4店、③減少した: 4店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年06月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	130,170,443	100.0	-3.2
紳士服・洋品	9,772,100	7.5	-4.5
婦人服・洋品	21,042,373	16.2	-4.3
子供服・洋品	1,756,878	1.3	1.2
その他衣料品	2,513,504	1.9	-3.7
衣 料 品	35,084,855	27.0	-4.0
身のまわり品	17,757,151	13.6	-5.7
化粧品	10,383,077	8.0	10.5
美術・宝飾・貴金属	8,911,290	6.8	-11.0
その他雑貨	5,592,506	4.3	-2.9
雑 貨	24,886,873	19.1	-1.1
家 具	1,521,797	1.2	-1.8
家 電	694,993	0.5	-25.3
その他家庭用品	4,251,611	3.3	-17.5
家 庭 用 品	6,468,401	5.0	-15.2
生 鮮 食 品	5,975,341	4.6	-3.2
菓 子	9,668,331	7.4	1.9
惣 菜	7,111,286	5.5	0.7
その他食料品	14,687,943	11.3	0.3
食 料 品	37,442,901	28.8	0.2
食 堂 喫 茶	3,039,107	2.3	-4.4
サ ー ビ ス	1,915,566	1.5	-18.5
そ の 他	3,575,589	2.7	4.1

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	4,490,855 千円	-5.0
従 業 員 数	19,229 人	-1.7
店 舗 面 積	882,870 m ²	3.1

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、食料品が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が8か月連続、身のまわり品が5か月連続、家庭用品が3か月連続、雑貨が15か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が15か月連続、惣菜が5か月連続、子供服・洋品、菓子、その他食料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.2	-	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.5	-0.3	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.3	-0.7	8か月連続マイナス
子供服・洋品	1.2	0.0	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-3.7	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	-4.0	-1.1	8か月連続マイナス
身のまわり品	-5.7	-0.8	5か月連続マイナス
化粧品	10.5	0.7	15か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-11.0	-0.8	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.9	-0.1	11か月連続マイナス*
雑貨	-1.1	-0.2	15か月ぶりマイナス
家具	-1.8	0.0	3か月連続マイナス
家電	-25.3	-0.2	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-17.5	-0.7	2か月連続マイナス
家庭用品	-15.2	-0.9	3か月連続マイナス
生鮮食品	-3.2	-0.1	4か月連続マイナス*
菓子	1.9	0.1	2か月ぶりプラス*
惣菜	0.7	0.0	5か月連続プラス*
その他食料品	0.3	0.0	2か月ぶりプラス*
食料品	0.2	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	-4.4	-0.1	6か月連続マイナス
サービス	-18.5	-0.3	12か月連続マイナス
その他	4.1	0.1	11か月連続プラス
商品券	-5.0	-0.2	16か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>